

# 青 私 幼

編集・発行

(一社)青森県私立幼稚園連合会

030-0861

青森市長島二丁目10-4

ヤマウビル8階

Tel 017-722-2780

Fax 017-722-2781

aoshiyo@beach.ocn.ne.jp



## 令和5年度事業報告

1. 一般社団法人青森県私立幼稚園連合会  
第1回定時総会  
日 時 令和5年5月10日(水)  
会 場 ホテル青森・Zoomによるオンライン
2. 第7回青森県私立幼稚園乳幼児保育研究会  
日 時 令和5年5月27日(土)  
会 場 アピオあおもり
3. 全日本私立幼稚園連合会東北地区会 第30回設置者・園長研修会(八戸大会)  
日 時 令和5年6月23日(金)  
会 場 八戸プラザホテル アーバンホール
4. 教職員永年勤続表彰(1名)
5. 第39回青森県私立幼稚園教員研修大会(八戸大会)  
日 時 令和5年8月8日(火)  
会 場 メイン会場 八戸プラザホテル  
むつ会場 プラザホテルむつ  
Zoomによるオンライン
6. 第11回新規採用教員研修会  
日 時 令和5年9月9日(土)  
会 場 青森県観光物産館アスパム
7. 第2回キャリアアップ研修会  
日 時 令和6年1月13日(土)  
会 場 八戸プラザホテル  
Zoomによるオンライン

# 未来を生きる 子どもたちのために

一般社団法人 青森県私立幼稚園連合会  
会 長 山 西 幸 子



新しい年2024年は衝撃の幕開けでした。元日に能登地方を襲った大地震では甚大な被害と多くの犠牲者が出ました。無残に崩れた家屋、寸断された道路や橋、線路など、報道の映像を目の当たりにして、大自然の前での人間の存在の弱さを思い知らされました。未だに不便な生活を送っている方々が大勢います。被災地の皆さまには心からのお見舞いを申し上げるとともに一日も早く普通の生活を取り戻し復興へと向かわれることを祈るばかりです。

年が明けてからの3ヶ月は、自然災害や異常気象、戦争、酷い事件など、現実のこととして受け止めきれないような出来事が押し寄せ、息をつく間もないほどの勢いで毎日が過ぎ去り、今年度も終わりを迎えています。いま時分は令和5年度のまとめと令和6年度の準備で慌ただしい日々をお過ごしのことと存じます。振り返っての一年間、本連合会に対しまして加盟園の皆さま方からのご理解とご協力、ご支援をいただき多くの事業が活発に行われましたことに心から感謝申し上げます。

さて、超少子化時代といわれる今、人口減少は社会全体に大きな影響をもたらしていますが、幼児教育に携わる私たちは真っ先にその荒波を被っているように感じます。昨年9月に全県で「園運営実態アンケート調査」を実施したところ多くの回答が寄せられ報告書としてまとめて頂いたところ、そこには、県内の私立幼稚園が抱えている数々の深刻な課題が浮き彫りとなって数字化されました。

その後、1月18日(木)に青森市で開催された「#あおばな」、および2月5日(月)に東京「アルカディア市ヶ谷」で開催された「全日本私立幼稚園PTA連合会 都道府県別懇談会」、これら2つの懇談会に、この報告書を貴重な資料として携えて参加して参りました。

「#あおばな」では、県内各私学団体の代表者が宮下知事と車座になって懇談し、建学の精神に基づ

く教育活動への理解を求めました。

「全日本私立幼稚園PTA連合会 都道府県別懇談会」では、江渡聡徳衆議院議員および神田潤一衆議院議員をお迎えし、県内各地区代表の高橋PTA会長(青森)、高田理事(八戸)、平田園長(弘前)、そして山西が、子育て支援・幼児教育・PTA活動などについて懇談しました。

2つの懇談会において、県内幼稚園の現状の課題については報告書で示されたグラフや数字でご理解を仰ぎ窮状を訴えながらも、それに留まるのではなく次世代に向かうことについても話題として取り上げ懇談いたしました。

これからの取り組みとして挙げたのは「青森県で子どもを産み育てたいと感じてもらうための手厚い子育て支援」及び「青森県で教育を受けたいと感じてもらうための確かな教育の確立」です。既にある青森県の魅力、「豊かな自然」「食」「文化」「穏やかな生活」等々に加えて、「手厚い子育て支援」及び「確かな教育」についても自信をもって広く発信できる青森県でありたいものです。

今は、変わりやすく、不確実で、複雑で、曖昧な時代といわれています。この先、子どもたちは、私たち大人が知る由もない未来を生きていくことになります。どのような世の中になるのか想像もできませんが、どんな世の中であっても、幼いころに無邪気に一生懸命に遊んで周りの大人に愛されて育ったという実感は決して消えることはなく、生涯にわたって、その人の大きな自信となり心の支えになるはずで

す。世の中の大きなうねりの中で、時として個人の力の弱さを思い知らされることがあります。それでも、「未来を生きる子どもたちのために」という思いの仲間たちとともに、「今やれること、やらなければならないこと」を見失うことなく、前に進んでいきたいと思



青森地区から



# 螢ヶ丘幼稚園

## 1. 園内のおすすめスポット

### 【昆虫の館（やかた）】

自然豊かな環境にある本園は“昆虫の館”と言っても過言ではありません。冬の間、園内の飼育箱で、カブトムシの幼虫7匹が冬ごもり中。春から秋には、園庭に様々な来客があります。ダンゴムシ、コオロギ、バッタはもちろん、珍しい『クロアゲハ』や『オニヤンマ』もやってきます。運が良ければ、リスにも会えます。



## 2. 園のイチオシ行事

### 【子どもたちの手作り“お遊戯会”】

令和5年度のお遊戯会は、普段の活動の中から生まれたお遊戯会になりました。子どもたちの「主体性」を引き出し、活動しては話し合い、話し合ってはまた活動し…試行錯誤した集大成が「お遊戯会」です。劇のセリフは子どもたちが発した言葉を拾っています。楽器遊びが合奏へと進化を遂げたのは“お客さん”に見せたいという心の表れでもありました。当日は、どの子どもみんな生き生きと自分を表現することができたのではないかと思います。



## 3. 園の「今流行り」

### 【たてわり保育で育つ心 ～くまさんとの出会い～】

少人数の特性を生かして、週1回たてわり保育の時間を設定しています。みんなの心が赤いハート（楽しい、嬉しい）の気持ちになるように子どもたちは相手のことを考えながら、自分たちで達成できた喜びを感じています。今年度は、この時間に“くまさん”が6回現れました。心配ご無用！先生が頭にタオルの耳をつけた“くまさん”です。くまさんが仕掛ける難題を、みんなで力を合わせて解決してきました。小さい子へ優しい口調で問いかけする大きい子の姿、大きい子の真似をして懸命に体を動かす小さい子の姿…。くまさんとの出会いが、子どもたちの心の成長の一助となりました。



# 園の紹介

## 弘前地区から

### 幼保連携型認定こども園

# みどり幼稚園



#### 1. 園内のおすすめスポット

##### 【1階ホールにある2階建て!! ままごとコーナー】

ままごと遊びをじっくりと楽しみたい3・4・5歳児が自力で上り、ままごとを楽しめるお部屋となっています。子ども達の家なので保育者が入らない約束です。今後も子どもの世界を大切にしていきたいと思っています。

#### 2. 園のイチオシ行事

##### 【ポニーふれあい体験～ポニーが幼稚園にやってくる～】

幼稚園の園庭にポニーが遊びに来てくれて、エサやり体験・乗馬体験・小さい子ども達は馬車に乗せてもらい、ポニーと沢山ふれあい楽しめます。

今年は10月に4頭のポニーが来てくれました。とてもおもしろいポニー達でした!!



#### 3. 園の「今流行り」

今年度は恐竜ブームな一年でありました。特に男の子達の間で大人気だったので、運動会・お遊戯会・日々の遊び等、様々な場面で恐竜が登場しました。



#### 4. 園紹介

令和4年度4月1日より開園しております。広い畑もあり、食育活動にも力を入れています。弘前に来られた際はいつでもお寄りください。お待ちしております。





八戸地区から

園の紹介

## ≡ 認定こども園 かもめ幼稚園 ≡



### 1. 園内のおすすめスポット 【玄関と隣接する八角形の職員室】

八角形なので園庭・駐車場が全部見渡せます。元気に登園してくる園児がすぐ見え、一番に出迎えるのが園長先生です。必ず声をかけ保護者にコミュニケーションを図っています。何気ない会話で園児や家庭の様子をキャッチ！また降園時は満面の笑みで「お帰りなさい！」と父母を労っています。最近は祖父母の迎えも多く井戸端会議風に笑い声が園内に響いています。玄関は幼稚園の「顔」です。大切にしていきたいですね。



### 2. 園のイチオシ行事

#### 【50年続いている漁業町ならではの「イワシ焼き」】

魚が大好きな子、郷土を愛する子に育ててほしいと願い、園庭でジュージュー焼いて食べます。また園所有の「冒険の森」には週2回出かけ1000坪もの自然の中で遊んでいます。虫取り、木登り、基地づくり。遊びは無限大！少しぐらいの雨も平気です。外で食べる給食も格別！森の日は先生方も笑顔いっぱい童心に帰ります。父母も年に2回ほど遊びに行き、楽しい親子の触れ合いの場となっています。



### 3. 園の「今流行り」

#### 【エビカニクス体操】

先生がエビとカニの帽子をかぶり変装してくると園児も歓声を上げ「エビカニ〜」と踊り出します。参観日には父母も一緒に踊り大好評です。

### 4. 園紹介

「冒険の森」は園から車で5分程の所にあります。お花見や遠足等に気軽にお立ち寄りくださいね。



# 令和5年度青私幼研修会報告

## 第30回東北地区設置者・園長研修会（八戸大会）



テーマ すべての子どもの幼児教育の充実・発展を考える  
～社会状況の変化を乗り越える園を目指して～



### 記念講演

演題 「子どもたちと楽しむ草花の多様な世界」  
講師 稲垣 栄洋 先生 静岡大学大学院教授  
農学博士 植物学者



### 第1分科会 教育

#### 幼児教育の質を考える

助言者 田中 雅道 全日本私立幼稚園連合会会長  
問題提起者 高橋 孝枝 (岩手県)  
認定こども園都南幼稚園 園長  
司会者 木村 雅大 (青森県)  
認定こども園甲田幼稚園理事長



### 第2分科会 認定こども園

#### 認定こども園における経営及び教育・保育活動を考える

助言者 石田 明義 全日本私立幼稚園連合会  
認定こども園委員会副委員長  
問題提起者 色摩 将寿 (山形県) 幼保連携型  
認定こども園ひばりが丘幼稚園理事長  
司会者 加藤 敏 (秋田県) 幼保連携型認定  
こども園秋田太陽幼稚園・ベビー園園長



### 第3分科会 振興

#### これからの時代を地域で生き残るために必要な方策を考える

助言者 角谷 正雄  
全日本私立幼稚園連合会副会長  
問題提起者 末屋 保広 (宮城県)  
ドリーム幼稚園理事長・園長  
司会者 阿部 光浩 (福島県) 認定こども園  
こはらだ幼稚園理事長



### 閉会式



### 懇親会






**第7回乳幼児保育研究会**


第Ⅰ講座

内容 「健康的な生活の基本  
～乳幼児期の食べる力の育ちと食育～」

講師 辻村 明子 先生  
青森中央短期大学食物栄養学科助教・管理栄養士



第Ⅱ講座

内容 「いのちをあずかる」いのちの授業  
性教育は「生」教育

講師 蛭名 えり子先生 助産師




**第11回新規採用教員研修会**


第Ⅰ講座

内容 「大切な一人 ～子どもの人権～」

講師 八戸小中野幼稚園理事長・園長  
小林 よう子



第Ⅱ講座

内容 ワークショップ 積極的にコミュニケーションを図る

参加者同士で「私たちの今」を語ろう




**第2回キャリアアップ研修会**


第Ⅰ講座

内容 幼稚園教育と法律

講師 たいよう総合法律経済事務所弁護士・弁理士  
上野 大輔 氏



第Ⅱ講座

内容 子どもの心を育てるアウトドア環境

講師 宮城学院女子大学教育学部教育学教授  
足立智昭 先生




**第39回教員研修大会（八戸大会）**


開会式 次第

開 式

会長あいさつ                      山西 幸子  
 来賓祝辞 青森県知事          宮下 宗一郎 様  
    八戸市長          熊谷 雄一 様

来賓紹介  
 永年勤続者表彰  
 幼稚園讃歌合唱

閉 式

研 修

第Ⅰ講座

演題：ESDの視点で令和時代の保育を考える  
 講師：十文字学園女子大学 教育人文学部  
          幼児教育学科教授 上垣内 伸子 先生  
 ESDへの理解を深め、自園での保育実践の中で大切にしてきた  
 内容をESDの視点で整理し直し、令和時代の幼児教育を考える。

第Ⅱ講座

演題：最適な読書環境を考えよう ～認知科学からの考察～  
 講師：群馬大学 情報学部 教授 柴田 博仁 先生  
 生まれた時からデジタル機器が身近にある子どもたち。大人も当  
 たり前にデジタルを使用しているが、人間が発達、成長する過程  
 において、幼い子どもにとって、どのような影響を及ぼしている  
 のか。子どもを守り育てる大人が理解しておきたい「紙とデジタ  
 ルの使い分け」を、認知科学からの視点で考える。



## JA全農あおもり様から食育絵本の贈呈

JA全農あおもり様が社会貢献活動の一環として進めている「子ども達への食育」として『子供たちの「食」と「県産品」に対する理解を深めるとともに、「地産地消」へ関心を高めるために実施する。また、社会貢献を通じて本会の認知度向上をはかるほか、SDGsと関連付けした内容とすることで、「JAグループSDGs取組宣言」における「持続可能な食料と農業の振興」に寄与する。』を目的に絵本を作成され、その絵本「おにぎりのやくそく」が一般社団法人青森県私立幼稚園連合会に寄贈されました。

令和6年1月18日にヤマウビルにおいて贈呈式が開催され、全国農業協同組合連合会青森県本部長 桑田徳文様、管理部次長 沼田友行様がご出席され、当連合会からは山西会長、木村・平田両副会長が出席し、目録が手交されました。なお、加盟園各園には2月下旬ころから直接順次発送され、3月中には全園に行き渡る予定とのことです。

